

報 雜

◎人 事

鐵道醫陸軍三等軍醫正八位 内野 彌 次 郎
鐵道醫ニ任ス

鐵道醫 小 栗 三 式
年俸貳千四百貳拾圓下賜
(昭和十一年十二月二十四日)
敘正五位 從五位 畑 文 平
(十二月十五日)

鐵道醫 内野 彌 次 郎
年俸貳千六百拾圓下賜
門司鐵道病院眼科醫長ヲ命ス (十二月二十四日)
敘正七位 從七位 福 島 翠
(十二月二十八日)

五級俸下賜 衛生技師 安原 節 太 郎
(十二月二十六日)

岡山醫科大學助教授 小池 藤 太 郎
本俸十級俸下賜 (一月八日)

從六位 西 田 實 雄
敘勳六等授瑞寶章 (昭和十一年九月十八日)

正六位勳四等 高 原 武 一
敘勳三等授瑞寶章

正五位 緒 方 益 雄
敘勳四等授瑞寶章 (一月十三日)

岡山醫科大學助教授 筒 井 德 光
陞敘高等官三等 (一月十五日)

衛生技師 木 下 武 男
防疫醫ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル

防疫醫 木 下 武 男
十一級俸下賜
栃木縣防疫醫ニ補ス (一月十八日)

敘從七位

難 波 政 士

(一月十三日)

○津田誠次君 昨年歐米各國に出張せられたる岡山醫科大學教授津田誠次君は本月9日無事歸任せられたり

○渡邊傳二君 は今般日本赤十字社命を帯び歐米に出張せらるる筈にて本年2月4日神戸解纜の白山丸にて先づ歐洲に向て出發せらるる豫定なり

○越智幸雄君 豫て愛媛縣八幡濱町簡易保險相談所に勤務し居られし同君は今般其職を辭し岡山醫科大學生理學教室に於て研究に従事せられたり

○八幡敏夫君 豫て岡山醫科大學津田外科教室に勤務し居られし同君は過般大阪市此花區春日出町2丁目末岡病院に轉勤せられたり

○丸田實喜君 は豫て大阪市常磐橋療養所に勤務し居られしが昨夏より大阪市大正區大正通9丁目に醫院建設中の處舊臘竣功せしを以て今般療養所を辭し開業せられたり

森川宗治君逝く 君は明治34年岡山醫學專門學校を卒業し郷里香川縣三豐郡栗井村に於て開業し居られしが舊臘28日病を以て永眠せられたりと寔に哀悼に堪へず謹みて茲に弔意を表す

安岡準三君逝く 君は昭和9年岡山醫科大學を卒業し暫く同大學耳鼻咽喉科教室に於て研究し盛岡市日本赤十字社支部病院に勤務中病を獲其職を辭し歸郷靜養中なりしが醫藥效を奏せず過日遂に永眠せられたりと寔に痛惜に堪へず謹みて茲に弔意を表す

◎學位授與

大藤利治、倉橋幸夫、龜山茂松の3君は豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしか昨年12月9日の教授會を通過し本月20日孰れも醫學博士の學位を授與せられたり其主論文及び參考論文は次の如し

大 藤 利 治 君

主 論 文

膀胱原基ノ發生ニ關スル研究

其1. 膀胱ノ發生ニ就テ

家兎胎兒ニ於ケル檢索 (本誌第47年第12號ニ發表セリ)

其2. 膀胱ノ發生學的研究

附記. 原始尿道ノ形成並ニ輸尿管開口部ノ移動ニ就テ

豚胎兒ニ於ケル檢索 (本誌第48年第7號ニ發表セリ)

參考論文

其1. 腎臟原基ノ發生ニ就テ

家兎胎兒ニ於ケル檢索 (本誌第47年第4號ニ發表セリ)

其2. 尿排泄分泌兩系統ノ結合機轉ニ關スル研究

鳥類 *Melopsittacus undulatus* ニ於ケル發生學的檢索 (本誌第47年第9號ニ發表セリ)

其3. 鳥類食道ノ特殊裝置ニ就テ

家鳩嚥食ノ發生學的研究 (本誌第48年第7號ニ發表セリ)

其4. 鳥類嚥食ノ發生ニ就テ

Wellensittich ニ於ケル檢索 (本誌第49年第1號ニ發表セリ)

倉 橋 幸 夫 君

主 論 文

血液凝固ニ關スル研究補遺

其1. 人乳ノ血液凝固ニ及ボス影響 (京都府立醫科大學雜誌第17卷第3號ニ發表セリ)

其2. 落花生及ビ大豆種子成分ノ血液凝固抑制作用 (倉敷中央病院年報第11年第1號ニ發表セリ)

參考論文

其1. 皮下溢血斑ニヨル ゲットリン 氏ノ「ビタミン」C 缺乏症檢定法ノ價值

附. 「ビタミン」C 缺乏症獸ノ血管強靱度ニ就テ (倉敷中央病院年報第9年第2號ニ發表セリ)

其2. 「クロロホルム」麻醉死ノ原因ニ關スル研究補遺

附. 「マウス」及ビ人ニ於ケル「クロロホルム」ト「モルヒネ」ニ對スル抵抗力ノ比較 (倉敷中央病院年報第11年第1號ニ發表セリ)

其3. 妊婦尿中ニ於ケル所謂腦下垂體前葉「ホルモン」ノ理化學性状ニ關スル研究 (倉敷中央病院年報第8年第1號ニ發表セリ)

其4. 産兒希望患者ニ對スル手術的治療成績ニ就テ (倉敷中央病院年報第5號ニ發表セリ)

其5. 卵巢纖維腫並ニ筋纖維腫ニ就テ (倉敷中央病院年報第8年第1號ニ發表セリ)

其6. 女子外尿道口ニ原發シタル癌腫ノ2例 (倉敷中央病院第7年第1號ニ發表セリ)

其7. 卵管開口術ノ效果ニ就テ (倉敷中央病院年報第9年第1號ニ發表セリ)

其8. 皮膚様卵巢囊腫ニ合併セル蛔蟲ニ因ル腹腔膿瘍ノ1治驗例 (産科ト婦人科第2卷第2號ニ發表セリ)

其9. 700餘箇ノ十二指腸蟲寄生ニ因ル稀ニ見ル頗ル高度ノ貧血ヲ合併セル産褥性有痛性白股腫ノ1治驗例及ビ産褥性有痛性白股腫ノ他ノ1例 (臨牀産科婦人科第10卷第1號ニ發表セリ)

表セリ)

其 10. ボロー氏手術ニヨリテ得タル前置胎盤標本指示 (倉敷中央病院年報第 10 年第 1 號ニ發表セリ)

其 11. 破壊性葡萄狀鬼胎ノ 2 例 (倉敷中央病院年報第 5 號ニ發表セリ)

其 12. 「ラミナリア」桿代用品「ヤボラミア」ニ就テノ實驗的竝ニ臨牀的研究 (本多操共著) (倉敷中央病院年報第 8 年第 1 號ニ發表セリ)

其 13. 「ヤボラミア」ノ臨牀實驗續報 (川野邊二郎共著) (倉敷中央病院第 10 年第 1 號ニ發表セリ)

龜 山 茂 松 君

主 論 文

1. 腦膜透過性ニ關スル臨牀的竝ニ實驗的研究 (本誌第 45 年第 11 號ニ發表セリ)
2. 腦膜透過性ノ實驗的研究
 - 第 1 報 實驗的發熱ノ腦膜透過性ニ及ボス影響ニ就テ (本誌第 46 年第 6 號ニ發表セリ)
 - 第 2 報 網狀織内被細胞系統ト腦膜透過性トノ關係ニ就テ (本誌第 46 年第 7 號ニ發表セリ)

第 3 報 酸性及ビ「アルカリ」性磷酸鹽緩衝液注入カ腦膜透過性ニ及ボス影響ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

參考論文

1. 炎衝反應傾向ニ就テ
 - 其 1. 「カゼオザン」注射ノ影響 (本誌第 47 年第 11 號ニ發表セリ)
 - 其 2. 網膜織内被細胞系統及ビ緩衝液注入トノ關係 (本誌第 47 年第 12 號ニ發表セリ)
 - 其 3. 「カンタリヂン」發泡ト泡内細胞ノ變化 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
2. 血液腹腔液間關ニ關スル研究 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
3. 家兔皮下組織球性細胞ノ墨粒貪喰機能ニ就テ (本誌第 48 年第 8 號ニ發表セリ)

◎日本文化講義

岡山醫科大學にては本月 15 日午後 1 時より同學第 1 講堂に於て第 3 回日本文化講義を開き次の講演ありたり

國際日本ノ發展ト文化ノ向上

前駐米大使 出淵勝次先生